

生産管理システム 新バージョン発売

テクノア

業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市本荘中ノ町、山崎耕治社長)は、クラウドに対応した多品種少量生産の部品加工業向け生産管理システム「TECHS-BK」の新バージョンを発売した。業務範囲に応じて選べるように三つのコースを設けた。

クラウド対応により初期投資やサーバー管理にかかる負担の軽減を図り、生産管理のデジタルトランスフォーメーション(DX)化に悩む中小企業の支援になるとみる。プランはスタンダード、ベーシック、ミニの三つを用意し、デジタル化への対応レベルに応じて機能拡張ができる。

初年度は200本の販売を目標に掲げる。同社は「今後中小製造業のIT経

営、DX推進をサポートする」としている。